

協議会・博物科学会 プログラム

6 月 16 日（木）

12:30 館長会議・理事会受付開始（Zoom ミーティング①入室開始）

13:00 大学博物館等協議会館長会議・日本博物科学会理事会
（休憩）

13:30 大学博物館等協議会受付開始（Zoom ミーティング②入室開始）

14:00 大学博物館等協議会

14:00 オンライン大会の参加方法説明

14:05 挨拶 実行委員会委員長 寺林 優（香川大学博物館長）

14:10 特別講演「博物館法の一部改正について」
上田和輝（文化庁企画調整課政策審議係長）

14:30 特別講演「博物館法改正の論点からみた大学博物館に係る期待」
塩瀬隆之（京都大学総合博物館准教授）

14:45 討論・意見交換
休憩

15:30 大学博物館等協議会総会・日本博物科学会総会
休憩

16:00 日本博物科学会研究発表（3 題、途中休憩なし）

17:00 散会

6 月 17 日（金）

8:30 日本博物科学会受付開始（Zoom ミーティング③入室開始）

9:00 日本博物科学会

9:00 オンライン大会の参加方法説明

9:05 日本博物科学会研究発表（7 題、途中休憩有）

11:40 散会

大会事務局からのお知らせ

大会全般について

- ・ 大会に係るお問い合わせは、大会事務局（香川大学博物館 087-832-1244）にご連絡ください。緊急以外はメール（museum-c@kagawa-u.ac.jp）でご連絡ください。
- ・ 全てのプログラムは、Zoom ミーティングで開催いたします。ウェブブラウザからの参加も可能ですが、ソフトウェアのインストールを推奨します。大会前に Zoom アプリをインストールし、さらに最新版にアップデートしてください。
- ・ 情報セキュリティのため、大会へのご参加は事前申し込み制としております。
- ・ Zoom ミーティング参加 URL、ミーティング ID・パスコード、および大会案内・要旨集の参加者以外への譲渡、インターネット上での公開を固く禁じます。
- ・ ユーザー名は、参加者名簿の番号と氏名でご記載ください（例：77 寺林優）
- ・ 発言時以外は、常にマイクをミュート、ビデオを停止でご参加ください。
- ・ 録画・録音・撮影・スクリーンショットはご遠慮ください。ただし、大会事務局が記録用に録画および撮影する場合があります。

館長会議・理事会出席者の皆様へ

- ・ Zoom ミーティング参加 URL、ミーティング ID・パスコード、および会議資料（パスワード付き）は、別途メールにてお送りします。
- ・ 参加 URL 等は、館長・理事もしくは代理出席者ならびに事務担当者限りとしてください。ただし、陪席の副館長および実務者等には共有可能です。
- ・ 待機室を有効にしています。入室が許可されるまでお待ちください。

参加者の皆様へ

- ・ Zoom ミーティング参加 URL、ミーティング ID・パスコード、および大会案内・要旨集（パスワード付き）は、別途メールにてお送りします。
- ・ 参加 URL 等は、一日目（午後のみ）、二日目（午前のみ）で異なります。
- ・ 待機室は無効にしております。
- ・ 質疑応答は、Zoom アプリのリアクション「挙手」機能を用いて行います。座長が指名したら、マイクのミュートを解除、ビデオを開始にし、所属・氏名を述べてから質問してください。質疑応答後は、マイクをミュート、ビデオを停止にしてください。

口頭発表者の皆様へ

- ・ 発表時間は 15 分、質疑応答・発表者交代 5 分です。
- ・ 発表者は、ご自身の発表が含まれるセッション開始前に、必ず参加 URL に接続してミーティングにご参加ください。
- ・ 前演者の発表終了後、座長の指示に従って Zoom アプリの「画面共有」をクリックして発表用ファイルを選択してください。選択したファイルが視聴者の PC 等の画面に共有されます。
- ・ 発表者は、マイクのミュートを解除、ビデオを開始にし、発表者の顔の映像が画面上に表示されていることを確認してから、発表を開始してください。
- ・ 質疑応答は、Zoom アプリのリアクション「挙手」機能を用いて行います。座長が指名した視聴者に発言権が与えられますので、発表者は質問にお答えください。
- ・ 何らかの事情やアクシデントによりネット環境がダウンし、発表ができなかった場合は、要旨をもって誌上発表となることをご了承ください。

第 17 回日本博物科学会プログラム

6 月 16 日（木）

【口頭発表】 Zoom を用いたオンライン

第 1 セッション 座長 篠原 渉（香川大学博物館、香川大学教育学部）

<展示>

16:00-16:20 O-01 企画展「アリの世界」を中心とする香川大学博物館および伊藤研究室での一般向け企画の実施例

○水野理央・伊藤文紀（香川大学農学部、香川大学博物館）

16:20-16:40 O-02 貴重技術史資料の逐次公開のための再現実験 VR 体験モデルの試作

○塩瀬隆之（京都大学総合博物館）・永平幸雄（大阪経済法科大学）・渡邊雅之（京都大学人間環境学研究科）

<その他>

16:40-17:00 O-03 コロナ禍での博物館運用の模索—試行的展示からの情報

○徳田明仁・小西和彦・吉富博之・吉田 広・千代田憲子（愛媛大学ミュージアム）

6 月 17 日（金）

【口頭発表】 Zoom を用いたオンライン

第 2 セッション 座長 寺尾 徹（香川大学博物館、香川大学教育学部）

<展示>

9:05-9:25 O-04 京都大学総合博物館の動物展示リニューアルからみた標本とパネルの役割

○本川雅治（京都大学総合博物館）・谷戸 崇・池田悠吾・岡部晋也（京都大学理学研究科）・高田賢人（京都大学人間環境学研究科）・西川完途（京都大学地球環境学学）

9:25-9:45 O-05 九大博物館エントランス展示の工夫と課題

中西哲也（九州大学総合研究博物館）

- 9:45-10:05 O-06 学生スタッフによる企画展示の作成と実施～美術館への出張展示を例として～
 ○黒島健介(広島大学総合博物館)・鎌田沙希(HUMs、広島大学生物生産学部)・弘松瑤希・清原 愛(HUMs、広島大学理学部)・趙 玲美(HUMs、広島大学生物生産学部)・南葉錬志郎(HUMs、広島大学大学院統合生命科学研究科)・藤原伊織(HUMs、広島大学生物生産学部)・吉朝 開(HUMs、広島大学理学部)・大崎壮巳(HUMs、広島大学大学院統合生命科学研究科)・吉本穂波(HUMs、広島大学文学部)
- 10:05-10:25 O-07 東京農工大学科学博物館動態展示継承プロジェクト—国産 HR-2 自動繰糸機の公開継承に向けて—
 ○齊藤有里加・金子敬一・横山 岳(東京農工大学科学博物館)
- 10:25-10:40 休憩
- 第3セッション 座長 松本由樹(香川大学博物館、香川大学農学部)
 <地域と社会連携>
- 10:40-11:00 O-08 博物館が支援する市民セルフ参加型の生物モニタリング調査の意義
 ○梅村綾子(名古屋大学博物館)・柏木晴香(名古屋科学館)
- 11:00-11:20 O-09 博物館における聴覚障がい者への情報保障について—福岡手話の会のアンケート調査から—
 茂泉千尋(九州大学総合研究博物館協力研究員)
- 11:20-11:40 O-10 伊佐早謙がつないだ沖縄と米沢 林泉文庫のさらなる活用に向けて
 ○佐藤 琴(山形大学附属博物館)・石黒志保(市立米沢図書館)・新宮 学(山形大学名誉教授)